

文化財防火デー

受け継がれて1000年 文化財を火災から守ろう

善隆寺の文化財収納庫「和蔵堂」の十一面観音立像は、桜材一本造の簡素ながら上品で美しく、平安時代後期の作で国の重要文化財に指定されています。

和蔵堂には、十一面観音立像とともに木造の仏頭が収蔵されています。檜材の一本造で同じく平安時代後期の作で国の重要文化財に指定されています。

観音の里

湖北地域消防本部管内は、文化財の宝庫です。観音菩薩像が濃密に分布し、集落の敷に匹敵するほど多くの観音像が大切に守られています。

平安時代に遡る古像も多く、「観音の里」と称されています。豊かで恵まれた自然・風土の美しさ、人情厚い土地柄、そこに佇む仏像がもつ高い歴史的、芸術的価値を火災、地震等の災害から守りましょう。

高月観音の里歴史民俗資料館「観音の里 ひわ湖・長浜」<http://kitabiwako.jp/kannon/interview03> (参照 2025-1-20)

かけがえのない文化財を火災等の災害から守るため、山門自治会をはじめ地元消防団(永原分団)、消防署が一体となって長浜市西浅井町山門 善隆寺の和蔵堂で1月19日に訓練を実施しました。

湖北地域消防本部 長浜消防署伊香分署